

交換留学帰国報告書

記入月日：平成30年1月17日

氏名：墨崎 有美

留学時所属&学年：国際地域学部 国際地域学科 3年

留学先大学	天主教輔仁大學
留学先国	台湾
留学期間	1年
留学開始一終了日	2018年2月23日 - 2019年1月10日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

海外で生活してみたかったから。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

11月頃。保険や、デビットカードなどの準備に時間がかかるもの。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

TOEFLの点数が足りず、諦めて第二希望の台湾に。結果としては台湾でよかった。大学のサイトのみ。現地の情報収集はあまりしていなかった。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

回数は覚えていないが、毎回受験した。金曜日のレーナー先生の特別授業は何回か参加した。短期留学の後のTOEFLが一番点数が良かったので、短期の留学をお勧めする。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

国際課

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

苦労して履修を考えてから留学したが、実際の履修とは全く違ったものになった。到着したその日に日本人を探し、その人から履修方法、おすすめの授業を聞くのが一番効率的。台湾の大学なら絶対に日本人がいる。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

とても穏やかで、キャンパスは自然が多い。綺麗。しかし、トイレは汚い。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

Wi-fi 完備。図書館も 3 つあり、日本の書籍も置いてある。留学生は中国語の授業を無料で受けることができる。意欲のある人は私費で授業を受けることもできる。ジムは 30 元ほどで利用できる。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

なし。

B. 授業や勉学

1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): 台日文化比較 (横路敬子先生)●時間数/週(単位数): 2 時間/週(2 単位)●クラスの学生数: 約 40 名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 日本と台湾の文化を比較する。グループワークなので台湾人の友人ができる。授業は全て日本語で行われる。予習・復習は必要なし。友人を作るという目的で受講するだけでも良いと思う。担当教員が横路先生ではないときもあり、その場合は授業内容が少し変わり、あまりおもしろくないと聞いたのでお勧めしない。
---	--

2	<p>●科目名(担当教員名): 基礎翻譯 (翟翠翎)</p> <p>●時間数/週(単位数):2時間/週(2単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 30 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 日本語学科 2 年生の日本語から中国語への翻訳の授業。グループに分けられるが、作業は基本的に個人で行う。翻訳の内容は基本的に簡単。復習は、TronClass にアップロードされた同學作品欣賞を見て行っていた。前期の期末テストは簡単であるが、後期の期末テストは範囲もかなり増え、難しい。しかし、授業に出席しておけば単位はとれる。</p>
3	<p>●科目名(担当教員名): 進階日語筆譯 (賴振南)</p> <p>●時間数/週(単位数):2時間/週(2単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 45 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 日本語学科 3 年生の日本語から中国語への翻訳の授業。グループ翻訳なので、台湾人の友達ができる。毎週小テストがあり、その点数が主に成績となる。テストの内容は前回の授業で行った翻訳から出題される。中間、期末テストともに小テストと同じ形式で行う。翻訳の内容は長めの少し難しいもの。</p>
4	<p>●科目名(担当教員名): 英文演説與簡報 (李桂香)</p> <p>●時間数/週(単位数):2時間/週(2単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 45 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 一般教養の英語の授業で、弁論法への単位交換が可能。先生がとても優しく、分かりやすい。予習、復習は特に必要ない。中間テストはスクリプトありの 4 分間のスピーチ。期末テストは 5 分間のプレゼンテーション。</p>

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

中国語の授業に関しては、予習復習をするべき。見て中文が分かっても、聞き取りが本当に難しい。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

中国語全般に苦しんだ。解決方法としては、積極的に台湾人と関わり、会話をすること。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

留学生が受講することができる日本語学科の授業はグループワークが多めで、友達を作ることができる。授業外でも、その子たちと仲良くできるのでとても良いと思う。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

困りごとがあったら、横路先生に相談してください。日本語学科の所属でない場合は、他の留学生に頼み、日本語学科の留学生歓迎会に参加できないか聞いてみるとよいと思います。その際に、履修の方法やおすすめの授業などいろいろ聞けるとと思います。他大学からの留学生のほとんどが日本語学科の所属だと思うので大丈夫です。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(4)人部屋
寮・アパート名	文徳宿舎
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他()
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) シャワー・トイレ

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

基本的に大学の周りに何でもありません。困りません。携帯会社だけないので、simカードの購入は少し大変かもしれません。しかし、バディに聞けば問題ないと思います。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

キャッシュパスポートでの引き下ろし。アプリで家計簿をつけた。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

○：ダニよけグッズ。みそ汁、ふりかけ。正露丸。

×：生理用品

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨 = TWドル)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	9万円(一時帰国する場合)	食費	12万円
保険代	17万円	家賃	8万
予防接種・ビザ代	1万7千円	教科書代	3万円
交際費(外食等)	12万円	その他	5万円

合計:67万7千円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

中国のことは「大陸」と呼んでいた。給水機の水にも気を付けてください。人によっては体調崩します。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

学内に付属の病院がある。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

なし。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

市販の風邪薬等。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

TOEFL の点数が足りず、第一希望の大学に留学できなかったため、最初は台湾留学の目的・目標が見つからず、もやもやすることが多かった。しかし、台湾で生活していく中で自分が台湾ですべきことを見つけることができた。それは留学を通して、「台湾と日本の繋がりについて考えること」だ。台湾は、唯一戦時中日本によって作られた多くの建造物を大事に保存している場所だ。また、日本語教育を受けた最後の世代の方々とは触れ合えるのも今の時期に台湾に留学した者の特権だと思った。悲しい歴史の跡を自分の目で確かめ、高齢者の方々から直接話を聞き、日本人としての責任を果たしたいと思った。そして、歴史を考慮した上で今後日本が台湾に対して行っていかなければならない支援や、日本人が知らなければならない事実、日本と台湾の未来、それらを、PBL を通して考えることができた。

中国語に関しては、日常会話のレベルまで成長できたので良かった。留学前は、英語だけで何とかかなと思っていましたが、全然何ともならなかった。学内にいればもちろん困ることはないが、一歩大学の外に出れば、中国語が話せなければ何もできない。とても良くてくれていたフルーツジュース屋さんのおじさんに、留学初日こんなことを言われた。「中国語が話せないのにどうやって勉強するの？」その時、とても悲しかったと同時に、本気で勉強しなければならないと思った。帰国する頃には、そのおじさんとも中国語で会話できるようになっただけでも意味があったと思う。周りは、中国語を2年間勉強してきた日本人学生ばかりで、焦る日々だったが、彼女たちがいたからこそ私にやる気を与えてくれたのだと思う。台湾で出会った日本人の同期は、私が台湾で得た最も大切なもので、彼女たちと過ごした1年間は私の大事な宝物だ。日本人と一緒に行動することを「良くない」と考える人もいるかもしれないが、日本人と上手くやっっていけない人が外国人と上手くやっっていけるとは到底思えない。留学の中で必ず辛くなる時がある、そんなときに気軽に話せるのも、力になってくれるのも間違いなく日本人だ。一生海外で生活していくなら外国人とだけ仲良くすれば良いかもしれないが、私は日本人と一緒にいたからこそ得られたものも沢山あった。格好つけないで日本人とも積極的に関わらべきだと私は思う。

後期のルームメイトにはスペイン人、カメルーン人もいたので、英語を使う機会も増えた。グローバルイングリッシュに慣れるには時間がかかった。しかし、お互いに何とかして伝えようと思えば伝わるので、コミュニケーションとはこういうことかと実感した。私は中国語をメインでやっついて英語を勉強する時間がとても少なかった。もう少し英語の授業をとるべきだったと思う。

留学を終えて気づかされたのは、自分ひとりでは何もできないということだった。周りの助けがあつてこそできることばかりで、それに対してもっと素直にならなければならないと思った。留学は自分を見直す本当に良い機会になった。ずっと福井でぬるぬる生きてきた私が、いかに世

間知らずで無力であるか思い知らされた。台湾で経験したこと、学んだことを今後の人生にしっかりと生かしていきたい。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

英語の授業をあまり取らなかったの、英語のスキルアップができなかった。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

中国語のスキルアップ。メーカーでの就職を希望。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

台湾は本当に良い場所です。きっとあなたのアナザースカイになります(笑)台湾で何を学ぶか、身につけるかは人それぞれです。どうしても他の人と比べてしまうかもしれませんが、自信をもって自分がしたいことを自由にしてください。台湾人は本当に優しいので、あなたのしたいことをサポートしてくれるはずですよ。

特に、輔仁大学は生活する上で本当に便利です。生活物資、毎日のご飯、大学の周りで全て揃います。新鮮なフルーツジュース屋さんがあつて、私はほぼ毎日通いました。タピオカのドリンクスタンドも周りに5軒ほどあり、飲み物の宝庫です。大学の目の前に地下鉄の駅があるので台北市内への移動も簡単です。

私は日本語学科の所属だったので、日本語を学びたい台湾人の学生と言語交換をし、中国語を学びました。現地語を学びたいと思うのであれば、日本語学科のある大学を選ぶことをお勧めします。所属する学科は英語学科でも良いと思います。輔仁大学の学生はみんなとても優しいです。英語の授業で出会った他学科の学生もとても良くしてくれました。(少しでも中国語を話せると、周りも喜んでくれます。)

夜間の中国語の授業が無料で受けられるのもとても良いと思います。クラスは5つほどに分けられます。大学によっては2つほどにしか分けられず、あまり意味がないとの話を聞いたので、その点では輔仁大学の言語センターは充実していると思います。教科書には簡体字での表記もあるので、HSKや中国語検定を受けようと考えている学生でも問題ありません。私もHSKを受けます。

何より、日本人が多いので安心です。輔仁大学に留学したおかげで日本中に友達が出来ました。1年間一緒に過ごすとお互いの良いところも悪いところも全部わかります。そんな親友が留学先でできるとは考えてもみませんでした。私にとって、彼女たちと過ごしたこの1年間は宝物です。ルームメイトには外国人もいたので、もちろん外国人の友達もいます。夜間の中国語は留学生のための授業なので、そこでも外国人の友達ができます。

私は、台北の玉蘭荘という施設でボランティアをしていたので、興味があればそこでボランティアもしてみてください。貴重な経験ができます。

私からのメッセージが役に立つかは分かりませんが、素敵な留学生活を送ってください。

